県内初の義務教育学校へ向けて　　平成２９年８月９日（水）文責：校長　惣田　正宏

黒島小中学校だより　～大暑の頃～

～県民祈りの日にあたって思うこと～

暦の上で最も暑い時期とされ、快晴が続き気温が上がり続ける頃です。夏休みに入りましたが、中学生は、毎日のように学校に登校し、駅伝の練習、部活動、夏休みの学習としっかり取り組んでいます。小学生も教会のドッジボールの練習等で、学校に顔を出しています。みんな、暑さに負けず、元気な様子で何よりです。さて、登校日である今日９日は、「県民祈りの日」であり、７２年前の１１時２分、広島に続いて、長崎に原爆が投下されました。たった１発の核爆弾で、１４万人以上の何の罪もない市民が犠牲となりました。先の戦争も、原爆についても体験された方々の高齢化が進み、いかに語り継いでいくかが課題となっています。体験をされた方の話や思いは、子ども達の心を揺さぶります。しかし、そのことが難しくなっている今日、戦争の悲惨さや体験を今の子ども達に伝えるのは、伝承してきた世代の大人の役割でもあります。今日の平和集会で、「７２年前の戦争や原爆のことについてしっかり学び、知りましょう。」、そして「戦争がない世の中、戦争を二度と起こさない日本にするために、自分ができることをじっくり考えましょう。」、「できることから始めましょう。」という話をしました。長崎を最後の被爆地にするために。

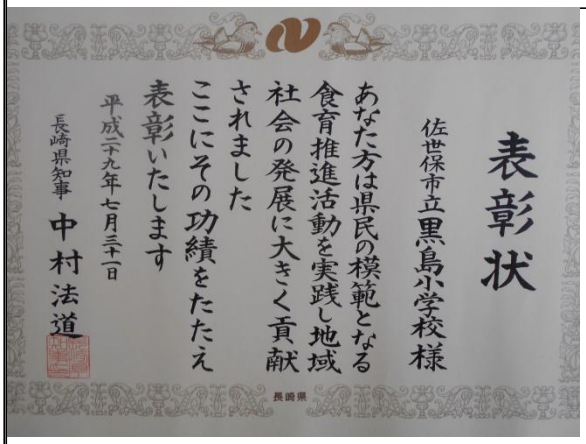






【シーカヤック体験　７月２６日】

黒島中学校が毎年行っているシーカヤック体験。本年度は、小学校４年生以上に拡大して、女瀬の海岸において、毎年来ていただいているインストラクターの堤夫妻と多数の保護者の協力のもと実施することができました。湾の外は、波が荒く、ほとんどを湾内での活動でしたが、はちきれんばかりの笑顔と歓声の中、充実した体験活動を行うことができました。黒島ならではの活動でした。しかし、これは本校のように保護者の温かい協力がないとできない活動でもあります。まさに黒島小中学校だからできる特色ある活動でもあります。私自身、対馬に赴任した時、個人的に経験はあったのですが学校の子ども達や保護者と一緒にみんなでできる喜びを感じました。少ししか湾外に出られませんでしたが、シーカヤックから眺める黒島の姿や自然の雄大さを心に刻み付けてほしいと感じました。


表彰状

佐世保市立黒島小学校様

あなた方は県民の模範となる食育推進活動を実践し地域社会の発展に大きく貢献されましたここにその功績をたたえ表彰いたします

平成二九年七月三一日

長崎県知事　中村法道

長崎県

【食育推進活動表彰（知事表彰）を受けました！　７月３１日】

黒島小学校が行っている黒島豆腐作りやかんころもち作り、漁業体験活動が長崎県食育推進県民会議において、知事表彰を受けました。これは、地域の食育推進に顕著な貢献をした団体や個人に対して県が表彰を行うもので、黒島小学校を含め５団体が表彰を受けました。通知を受け、セントヒル長崎で行われた表彰式に出席をしたのですが、学校関係で表彰を受けたのは黒島小学校だけでした。このことは、本校が保護者や地域の方々の協力を得て行っている体験活動が、他では見られない特色があるもので、児童の郷土料理への関心を高めるとともに地域交流の機会となっていること、食育活動を通して地域の活性化にも繋がっていることが評価されました。自信にもなります。本校の子どもたちのために関係の方々に快く協力していただいて実施している活動です。改めて感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。